

問1 静岡県周辺の太平洋沿岸部において、冬でも気温が5度を下回らない日が多く、比較的温暖である理由として最も適切な説明はどれですか。

(2023年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|---|
| 1. 暖流である対馬海流の影響を受け、冬でも湿った空気が流れ込みやすいため | 2. 標高が低く日照時間が短いため、放射冷却が起こりにくいから | 3. 一年中吹いている偏西風が、大陸の暖かい空気を絶えず運んでくるため | 4. 暖流である黒潮（日本海流）の影響を受けるとともに、北からの冷たい季節風が山脈によって遮られるため |
|---------------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|---|

問2 かつて藩主が文化振興に力を入れた歴史的背景を持ち、現在も加賀友禅や金沢箔、そして能登半島の「輪島塗」など、多くの伝統的工芸品が生産されている都道府県を選びなさい。

(2019年 北海道公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 石川県 | 2. 福井県 | 3. 富山県 | 4. 岐阜県 |
|--------|--------|--------|--------|

問3 長野県の八ヶ岳山麓などの標高が高い地域では、夏でも涼しい気候を利用してレタスやキャベツなどの生産が行われています。このように、平地での収穫・出荷が終わった後に市場へ野菜を出荷する栽培方法を何といいますか。

(2023年 岐阜県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|--------|
| 1. 近郊農業 | 2. 促成栽培 | 3. 抑制栽培 | 4. 二毛作 |
|---------|---------|---------|--------|

問4 中部地方の地理に関する学習において、岐阜県の内陸山間部にある集落について調べたところ、1995年にユネスコの世界文化遺産に登録されており、現在も伝統的な生活文化が守られていることがわかりました。この集落の名称として正しいものはどれですか。

(2020年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 馬籠宿 | 2. 五箇山 | 3. 飛騨高山 | 4. 白川郷 |
|--------|--------|---------|--------|

問5 愛知県を中心とする東海地方では、ある特定の工業製品の事業所が密集して分布しています。この、自動車などの製造を指す工業の分類名と、完成した製品を海外へ輸出する際に主に利用される輸送手段の組み合わせとして適切なものはどれですか。

(2019年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------|--------------|---------------|--------------|
| 1. 輸送用機械と航空輸送 | 2. 電子部品と海上輸送 | 3. 輸送用機械と海上輸送 | 4. 電子部品と航空輸送 |
|---------------|--------------|---------------|--------------|

問6 愛知県は日本最大の自動車工業地帯を擁していますが、瀬戸市の伝統産業である陶磁器の技術が、現代の自動車工業にどのように貢献しているといえますか。その説明として最も適切なものを選びなさい。

(2025年 滋賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 陶磁器の絵付け技術を応用し、自動車の車体における繊細な塗装工程を担っている。 | 2. 陶磁器の成形・焼成技術を発展させ、耐熱性や絶縁性に優れた精密部品を供給している。 | 3. 伝統的な職人の徒弟制度をモデルにして、自動車工場の効率的な労働管理を行っている。 | 4. 粘土の採掘で培った土木技術を利用して、自動車工場の敷地造成を行っている。 |
|---|---|---|---|

問7 北陸地方の石川県、能登半島北部に位置する輪島市では、木の器に漆（うるし）を塗り重ねて作る伝統的な工芸品が生産されています。経済産業大臣によって「伝統的工芸品」に指定されている、この漆器の名称として正しいものはどれですか。

(2022年 新潟県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|--------|---------|---------|
| 1. 天童将棋駒 | 2. 輪島塗 | 3. 仙台筆筒 | 4. 南部鉄器 |
|----------|--------|---------|---------|

問8 北陸地方を通る北陸新幹線の地理的特徴について、福井駅から長野駅までの各県庁所在地の並びと、その位置関係を説明した文として正しいものはどれですか。

(2024年 福井県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--------------------------------------|---|
| 1. 福井から東へ向かうと富山、金沢の順に県庁所在地を通り、その後、内陸の長野へ至る。 | 2. 福井から北東へ向かうと金沢、富山の順に県庁所在地を通り、その後、内陸の長野へ至る。 | 3. 福井から東へ向かうと長野、金沢、富山の順に県庁所在地が並んでいる。 | 4. 福井から北東へ向かうと金沢、長野の順に通る、最後に日本海側の富山へ至る。 |
|---|--|--------------------------------------|---|

問9 愛知県瀬戸市は、鎌倉時代から続く伝統的な工芸品の産地として知られています。この地域で生産される、良質な粘土を原料とした「瀬戸焼」などの工芸品を総称して何と呼びますか。

(2021年 奈良県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|-------|--------|-------|
| 1. 織物 | 2. 漆器 | 3. 陶磁器 | 4. 鉄器 |
|-------|-------|--------|-------|

問10 日本の農業において、長野県などの高冷地で生産が盛んな「レタス」の生産・流通に関する記述として正しいものはどれですか。

(2018年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 大消費地である東京に隣接しているため、トラックによる短時間の輸送で鮮度を保って出荷される。 | 2. 夏の涼しい気候を利用した抑制栽培により、他の産地の出荷が減る時期に市場へ供給される。 | 3. 水はけの良い火山灰地が広がっているため、夏でも乾燥に強い品種として生産されている。 | 4. 冬の温暖な気候を利用した促成栽培により、暖房費用を抑えて冬から春に出荷される。 |
|--|---|--|--|

問11 岐阜県などの林業が盛んな地域では、人工林の管理において、立木の一部を伐採して樹木の間隔を広げる作業が行われます。日光が地面に届くようにすることで、残された木を健全で大きな木に育てるために行われるこの作業の名称として正しいものを選びなさい。

(2017年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| 1. 下刈り | 2. 皆伐 | 3. 間伐 | 4. 植林 |
|--------|-------|-------|-------|

問12 2019年時点の統計によると、静岡県の茶の栽培面積17,100ヘクタールのうち機械導入面積は10,194ヘクタールであるのに対し、鹿児島県は栽培面積8,430ヘクタールのうち機械導入面積が8,024ヘクタールに達しています。このデータから読み取れる、鹿児島県の茶栽培に関する説明として正しいものはどれですか。

(2020年 広島県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 静岡県よりも栽培面積が広いため、機械導入面積も全国で最大である | 2. 機械化が遅れているため、生産には多くの熟練労働者の手を必要としている | 3. 栽培面積の大部分で機械化が進んでおり、生産の効率化が図られている | 4. 栽培面積に対する機械化の割合は、静岡県よりも低い水準に留まっている |
|------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|

問13 日本の工業地帯・地域別の統計において、全国の工業生産額の約27.1%を占め、第1位となっている地域の特徴として最も適当なものはどれか。

(2015年 大分県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 石油化学コンビナートが沿岸部に形成され、化学工業の割合が高い瀬戸内工業地域を中心としている。 | 2. 自動車産業の強力な集積を背景に、輸送用機械の製造品出荷額が非常に多い中京工業地帯を含んでいる。 | 3. 古くから繊維工業や金属工業が発展し、現在は中小の機械工場が密集する阪神工業地帯を含んでいる。 | 4. 印刷・出版業が集積し、東京都を中心とした巨大な消費地に隣接する京浜工業地帯を中心としている。 |
|---|--|---|---|